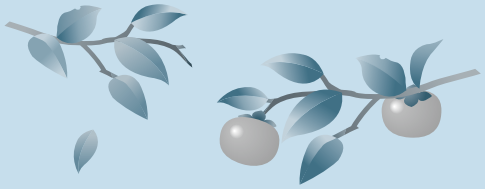
町民の消息

（9月26日～10月25日届出分）敬称略

■おくやみ申し上げます

酒　井　サヨ子	73歳	亀　岡
目　黒　芳　雄	78歳	只　見
梁　取　ムツ子	100歳	小　林
吉　津　民　子	93歳	黒　谷
山　中　くみ子	62歳	黒　谷
菊　地　ミサ子	94歳	梁　取



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和8年10月1日現在

人　口	3,331	（－13）
男	1,668	（－　6）
女	1,663	（－　7）
世帯数	1,453	（－　1）
高齢化率	48.7％	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 2　転出 9　出生 0　死亡 6

あとがき

▽秋が深まってきて、朝夕は冷え込むようになりました。寒暖差の影響か、久しぶりに風邪をひきました。町内でもインフルエンザが流行っているようです。皆さま、体調管理には十分お気をつけください。

▽あと1か月もしないうちに雪が降り始めるでしょうか。あっという間に冬ですね。早く元気になって冬への備えを進めたいと思います。

（滝沢）

明和公民館図書紹介

おすすめ新着図書

明和公民館図書室
☎86-2111

★誰何（すいか）



【著】伏尾美紀（光文社）

東京都内で松川美和という女性が孤独死した。その報を親族に伝えた警察官は衝撃を覚える。松川は二年前に亡くなったというのだ。では、この人は誰なのか？北海道警察をやめ、児童相談所で臨時職員として働く新内由紀。ある日、警視庁の刑事から、松川の部屋に警官時代の新内の名刺が残されていたと聞く。彼女のことなど皆目知らないのに。同じ頃、石狩で起きた事件を捜査していた同警の砂本修二も、被害者宅でかつての先輩、新内の名刺を見つけた。刑事たちが追う複雑に交錯した無数の事件。その道行は、やがて一本の糸を紡ぎ出していく。

★パンどろぼうとさすらいラーメン

【著】柴田ケイコ（KADOKAWA）



とっても寒い“ぶるぶるじま”にやってきたパンどろぼう。

できたてのパンをふるまおうとパン作りをはじめますが、窯の扉をあけようとした、その瞬間…

＼＼＼ボフ――――ン／／／

パンが作れずこまっているところへさっそうと現れたのはいったい、誰――――？

ほかほかのパンとあつあつのラーメンが織りなす、熱血ハートフルストーリー開幕！

「パンどろぼう」シリーズ待望の最新刊！

☆明和公民館ではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

町民憲章

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

